

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

有所見者へのフォローアップ生活生活習慣病対策を行う。
被扶養者の健診受診率の向上、特定保健指導の実施率向上を優先し、
また、コラボヘルスによりヘルスリテラシーの強化

事業全体の目標

具体的な目標を記載

- ・ 特定保健指導 %
- ・
- ・

事業の一覧

職場環境の整備

疾病予防	個別情報提供ツール（プラットフォーム）の構築
予算措置なし	コラボヘルス会議

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	利用者向けWebサイトの活用（PePup）
予算措置なし	ベジチェック

個別の事業

特定健康診査事業	被扶養者特定健康診査事業
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	重症化予防改善プログラム
疾病予防	9歳未満児童向け虫歯予防キャンペーン
疾病予防	多剤対象者への通知
疾病予防	体重測定チャレンジ
疾病予防	禁煙対策プログラム
体育奨励	ウォーキングキャンペーン等のスポーツイベント

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
疾病予防	1	新規	個別情報提供ツール(プラットフォーム)の構築	全て	男女	19～74	被保険者,基準該当者	3	工	ICTを活用した個人情報提供へのプラットフォームを提供し(事業主と共同事業)	ア,イ		2,592	2,592	2,592	2,592	2,592	2,592	ICTを活用して加入者への個人情報提供を通じ、健康の維持管理を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 全体では医療費は年々増加。R4の増加率は前年よりは減少している。特に家族の医療費が増加している。全国と比較すると周産期、新生物、消化器系などが高い割合となっている。 肥満割合では男性では60-64歳を除いて40歳以上で全国平均を大きく上回っている。 血糖は全国平均よりやや高いが、血圧・脂質は全国平均よりやや低い。血糖、血圧は年代とともに増加している。脂質は35歳から一定して高くなっている。 メタボ該当率・積極的支援該当率は全国を下回っている。メタボ該当者(予備群該当、基準該当)のうち、すべて該当者が3割、2つ以上該当者で8割弱を占める。年代別で見ると、40歳未満は脂質該当、40歳以上では血糖+脂質該当、50歳以上で血圧+脂質該当が増える。 受診動向以上該当者の医療機関受診状況を見ると、受診なしの割合が血圧・脂質で増加している。血圧で約5割、脂質で6割の方が未受診のままになっている。 生活習慣病関連を見ると医療費では14.3%を占め、受診率は本人で年々増加している。 50歳代から糖尿病、高血圧の医療費が増加しており、特に50歳代で脳血管疾患虚血性心疾患などが発生している
													健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施	健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施	健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施	健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施	健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施	健診結果の共有と対象者へのアプローチ状況の共有を実施		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
予算措置なし	1	既存	コラボヘルス会議	母体企業	男女	19～(上限なし)	被保険者	3	ス	隔月で加入者(被保険者)の健康管理施策について、理事長、常務理事、事務局の月次会を設ける。毎月、事務担当者間での連絡会議を実施。	ア	-	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	・コラボヘルス会議の開催 ・定期情報交換会の開催	母体事業主との定期情報交換会を設け、課題、施策について協働で取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣については毎日間食、飲酒量については全国平均より高い。寝る前2時間以内の食事、睡眠については全国平均より低い。 喫煙率は男女とも全国平均より大幅に低い。 全体では医療費は年々増加。R4の増加率は前年よりは減少している。特に家族の医療費が増加している。全国と比較すると周産期、新生物、消化器系などが高い割合となっている。 肥満割合では男性では60-64歳を除いて40歳以上で全国平均を大きく上回っている。 血糖は全国平均よりやや高いが、血圧・脂質は全国平均よりやや低い。血糖、血圧は年代とともに増加している。脂質は35歳から一定して高くなっている。 メタボ該当率・積極的支援該当率は全国を下回っている。メタボ該当者(予備群該当、基準該当)のうち、すべて該当者が3割、2つ以上該当者で8割弱を占める。年代別で見ると、40歳未満は脂質該当、40歳以上では血糖+脂質該当、50歳以上で血圧+脂質該当が増える。 受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況を見ると、受診なしの割合が血圧・脂質で増加している。血圧で約5割、脂質で6割の方が未受診のままになっている。 生活習慣病関連を見ると医療費では14.3%を占め、受診率は本人で年々増加している。 50歳代から糖尿病、高血圧の医療費が増加しており、特に50歳代で脳血管疾患虚血性心疾患などが発生している
定期会議の開催(【実績値】18回 【目標値】令和6年度：18回 令和7年度：18回 令和8年度：18回 令和9年度：18回 令和10年度：18回 令和11年度：18回) ・月次会 年12回(毎月開催) ・コラボヘルス会議 年6回(偶数月開催)												個別の施策のアウトカムで評価のため(アウトカムは設定されていません)								
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	利用者向けWebサイトの活用(PePup)	全て	男女	19～74	加入者全員	1	ア,エ	ポピュレーションアプローチツールとして、健康リテラシー向上を図る	ア	-	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	・登録率向上キャンペーン ・ウォーキング・体重測定キャンペーンの申込実施	情報提供により加入者の予防・健康づくりへの行動変容を促し、低リスク層の健康意識の底上げを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣については毎日間食、飲酒量については全国平均より高い。寝る前2時間以内の食事、睡眠については全国平均より低い。 喫煙率は男女とも全国平均より大幅に低い。
登録率(【実績値】91.5% 【目標値】令和6年度：92% 令和7年度：94% 令和8年度：96% 令和9年度：98% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												ウォーキングCP参加数(【実績値】936人 【目標値】令和6年度：1,000人 令和7年度：1,000人 令和8年度：1,000人 令和9年度：1,000人 令和10年度：1,000人 令和11年度：1,000人)プログラムに参加した人数								
予算措置なし	5	新規	ベジチェック	母体企業	男女	18～(上限なし)	被保険者	2	ア,エ	機械を利用して評価の実施 通年実施	ア	-	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施	野菜不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣については毎日間食、飲酒量については全国平均より高い。寝る前2時間以内の食事、睡眠については全国平均より低い。 喫煙率は男女とも全国平均より大幅に低い。
ベジチェック参加率(【実績値】87.7% 【目標値】令和6年度：88% 令和7年度：89% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)野菜摂取量をはかるデバイス(ベジチェック)を月1回以上測定した参加率												ベジチェック平均値(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：7.0値 令和7年度：7.3値 令和8年度：7.5値 令和9年度：7.7値 令和10年度：7.9値 令和11年度：8.0値)カゴメ平均7.0以上を目指す(全国平均5.6)								
個別の事業																				
													2,354	2,500	2,800	3,100	2,634	3,700		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
アウトプット指標												アウトカム指標												
特定健康診査事業	3	既存(法定)	被扶養者特定健康診査事業	全て	男女	40～74	被扶養者	1	エ,ク,ケ	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	カ	-	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カゴメけんしんドック」の案内実施 未受診者リストを作成 受診促進のチラシ及び受診促進文書を送付 他の会社にパート勤務されている被扶養者の結果収集 健診結果の情報をWebで提供を行う。 	実施率の向上により、病気になるリスクを早目に見つけ、適切なフォローに繋げたり、個々の健診結果に基づき分かり易い情報提供を実施し、特定健診対象者の被扶養者の健康への関心度を高め、受診者の健康維持を推移。	全体の特定健診受診率は年々増加しており、本人・家族ともに全国平均を上回っている。 ● 特定保健指導該当者率はR4年度は前年より増加しているが、R3は全国と比べて割合が低く。 ● 特定保健指導実施率は本人、家族ともに非常に高い状態が続いている。本人はR4年度に実施率が減少しているが、家族が上昇している。 ● 積極的支援該当者では約4割、動機づけ支援該当者の約半数が保健指導対象から外れている。 ● 特定保健指導申込者のうち、R4年度での改善者の約半数は特定保健指導対象者にとどまっている				
案内実施(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)案内の実施												特定健診受診率(被扶養者)(【実績値】61.7% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：68% 令和8年度：71% 令和9年度：74% 令和10年度：77% 令和11年度：80%)特定健診対象者(扶養者)の受診率を向上させる												
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,ク,ケ,サ	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	ア,イ,ウ,コ	本社等は事業主の管理栄養士に委託 工場系、被扶養者は外部委託にて実施	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断兼用型人間ドック(カゴメけんしん)を事業主協働で実施 健診時期を限定(4月～6月) ICT活用の保健指導を活用 	特定保健指導の実施率を上げることにより対象者を減少させる。	全体の特定健診受診率は年々増加しており、本人・家族ともに全国平均を上回っている。 ● 特定保健指導該当者率はR4年度は前年より増加しているが、R3は全国と比べて割合が低く。 ● 特定保健指導実施率は本人、家族ともに非常に高い状態が続いている。本人はR4年度に実施率が減少しているが、家族が上昇している。 ● 積極的支援該当者では約4割、動機づけ支援該当者の約半数が保健指導対象から外れている。 ● 特定保健指導申込者のうち、R4年度での改善者の約半数は特定保健指導対象者にとどまっている					
特定保健指導実施率(【実績値】86.9% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)合計												特定保健指導対象者割合(【実績値】13.6% 【目標値】令和6年度：13.3% 令和7年度：13% 令和8年度：12.7% 令和9年度：12.4% 令和10年度：12.1% 令和11年度：11.8%)実績報告より確認												
												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】27.9% 【目標値】令和6年度：28.5% 令和7年度：29% 令和8年度：29.5% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)実績報告より確認												
保健指導宣伝	7	既存	後発医薬品の差額通知	全て	男女	19～74	加入者全員	1	ス	各事業所の総務と協力して、シール配布の実施 新規保険証発行時のシール配布の徹底 ジェネリック医薬品差額通知を実施	シ	-	459	459	459	459	500	459	後発医薬品使用促進による薬剤費の抑制及び利用者の負担軽減を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)				
ジェネリック使用率(【実績値】83.7% 【目標値】令和6年度：84% 令和7年度：84.5% 令和8年度：85% 令和9年度：85.5% 令和10年度：86% 令和11年度：86.5%)-												削減効果額(【実績値】188万円 【目標値】令和6年度：193万円 令和7年度：198万円 令和8年度：200万円 令和9年度：200万円 令和10年度：200万円 令和11年度：200万円)後発品転換による効果額(健康保険確認)												
												90,770						100,000	100,000	100,000	64,250	100,000		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
疾病予防	3,4	既存	人間ドック	全て	男女	30～74	基準該当者	3	ア,イ,ウ,ケ	人間ドック 前立腺のがん検診補助	ア,イ	受診勧奨は会社側の保健師より案内を実施	アウトプット指標					アウトカム指標					<p>加入者の健康の保持の為、病気の予防、早期発見、早期治療に結びつけるため、健診事業を推進する。</p> <p>● 全体では医療費は年々増加。R4の増加率は前年よりは減少している。特に家族の医療費が増加している。全国と比較すると周産期、新生物、消化器系などが高い割合となっている。 肥満割合では男性では60-64歳を除いて40歳以上で全国平均を大きく上回っている。 血糖は全国平均よりやや高いが、血圧・脂質は全国平均よりやや低い。血糖、血圧は年代とともに増加している。脂質は35歳から一定して高くなっている。 ● メタボ該当率・積極的支援該当率は全国を下回っている。メタボ該当者（予備群該当、基準該当）のうち、すべて該当者が3割、2つ以上該当者で8割弱を占める。年代別で見ると、40歳未満は脂質該当、40歳以上では血糖+脂質該当、50歳以上で血圧+脂質該当が増える。 ● 受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況をみると、受診なしの割合が血圧・脂質で増加している。血圧で約5割、脂質で6割の方が未受診のままになっている。 ● 生活習慣病関連を見ると医療費では14.3%を占め、受診率は本人で年々増加している。 50歳代から糖尿病、高血圧の医療費が増加しており、特に50歳代で脳血管疾患虚血性心疾患などが発生している</p> <p>全体の特定健診受診率は年々増加しており、本人・家族ともに全国平均を上回っている。 ● 特定保健指導該当者率はR4年度は前年より増加しているが、R3は全国と比べて割合が低く。 ● 特定保健指導実施率は本人、家族ともに非常に高い状態が続いている。本人はR4年度に実施率が減少しているが、家族が上昇している。 ● 積極的支援該当者では約4割、動機づけ支援該当者の約半数が保健指導対象から外れている。 ● 特定保健指導申込者のうち、R4年度での改善者の約半数は特定保健指導対象者にとどまっている</p>
													カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	カゴメけんしん人間ドックとし、会社と協同で実施 ・事業主との協同事業により健康管理情報の連携と受診勧奨実施。	被保険者の受診率(【実績値】86.6% 【目標値】令和6年度：87% 令和7年度：87% 令和8年度：87% 令和9年度：87% 令和10年度：87% 令和11年度：87%)R4被保険者対象者(任継合) 2,032名 うち受診者1,760名	精密検査受診率(【実績値】96.5% 【目標値】令和6年度：97% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%)精密検査の受診により早期発見につなげる			
													10,098	15,000	16,000	16,000	11,900	16,000					

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
3	既存	婦人科健診	全て	女性	30～74	基準該当者	1	イ,ウ	-	ア,イ	-	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	婦人科健診補助の実施	近年増加傾向にある子宮がん、乳がんの予防、早期発見、早期治療に繋げるため、婦人科健診の補助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 全体では医療費は年々増加。R4の増加率は前年よりは減少している。特に家族の医療費が増加している。全国と比較すると周産期、新生物、消化器系などが高い割合となっている。 肥満割合では男性では60-64歳を除いて40歳以上で全国平均を大きく上回っている。 血糖は全国平均よりやや高いが、血圧・脂質は全国平均よりやや低い。血糖、血圧は年代とともに増加している。脂質は35歳から一定して高くなっている。 メタボ該当率・積極的支援該当者（予備群該当、基準該当）のうち、すべて該当者が3割、2つ以上該当者で8割弱を占める。年代別で見ると、40歳未満は脂質該当、40歳以上では血糖+脂質該当、50歳以上で血圧+脂質該当が増える。 受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況を見ると、受診なしの割合が血圧・脂質で増加している。血圧で約5割、脂質で6割の方が未受診のままになっている。 生活習慣病関連を見ると医療費では14.3%を占め、受診率は本人で年々増加している。 50歳代から糖尿病、高血圧の医療費が増加しており、特に50歳代で脳血管疾患虚血性心疾患などが発生している
受診率(乳がん)【実績値】62.5% 【目標値】令和6年度：63% 令和7年度：63.5% 令和8年度：64% 令和9年度：64.5% 令和10年度：65% 令和11年度：65.5%-												精密検査受診率【実績値】96.5% 【目標値】令和6年度：97% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%-									
受診率(子宮がん)【実績値】47.4% 【目標値】令和6年度：48% 令和7年度：48.5% 令和8年度：49% 令和9年度：49.5% 令和10年度：50% 令和11年度：50.5%-																					
3	既存	歯科健診	全て	男女	19～65	被保険者	1	ア,ウ,サ	-	ア	-	巡回健診での実施(自己負担なし)、個人での受診の場合は費用補助の実施 一部は就業時間内に実施可能 受診者はインセンティブの付与	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	巡回健診での実施(自己負担なし) 個人での受診の場合は費用補助の実施	歯科健診、歯みがきキャンペーン実施による口腔ケアの維持と歯科治療費の抑制に繋げる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
歯科健診受診率【実績値】17.9% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%-												歯科医療費【実績値】9,346万円 【目標値】令和6年度：9,300万円 令和7年度：9,200万円 令和8年度：9,100万円 令和9年度：9,000万円 令和10年度：9,000万円 令和11年度：9,000万円)前年より減少させる									
8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	19～74	被保険者	1	サ	-	シ	-	一部事業主では就業時間内に実施 それ以外は費用補助の実施	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	・事業所での接種を主体として実施 ・接種期間10月～1月	インフルエンザの罹患による重症化予防策の一環として実施する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
受診者数【実績値】1,874人 【目標値】令和6年度：2,000人 令和7年度：2,000人 令和8年度：2,000人 令和9年度：2,000人 令和10年度：2,000人 令和11年度：2,000人)-												インフルエンザ罹患患者数【実績値】21人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-									
												3,390	3,500	3,500	3,500	3,500	3,300	3,500			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
禁煙プログラム参加者数(【実績値】11人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												喫煙率(被保険者)(【実績値】15.7% 【目標値】令和6年度：13.5% 令和7年度：12% 令和8年度：10.5% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-								
体育奨励	5	既存	ウォーキングキャンペーン等のスポーツイベント	全て	男女	19～65	被保険者,被扶養者	1	ア,エ	ICTを活用した事業実施参加者/達成者へインセンティブのポイントを付与			2,660	-	-	-	220	-	スポーツイベントを通じて加入者の運動へのきっかけづくり。	●生活習慣については毎日間食、飲酒量については全国平均より高い。寝る前2時間以内の食事、睡眠については全国平均より低い。 ●喫煙率は男女とも全国平均より大幅に低い。
													ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)	ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)	ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)	ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)	ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)	ウォーキングキャンペーンの実施(10-11月)		
ウォーキングCP参加数(【実績値】936人 【目標値】令和6年度：950人 令和7年度：960人 令和8年度：970人 令和9年度：980人 令和10年度：990人 令和11年度：1,000人)-												適切な運動習慣の実施割合(【実績値】24.5% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25.5% 令和8年度：26% 令和9年度：26.5% 令和10年度：27% 令和11年度：27.5%)日常生活の身体活動1時間以上の割合								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他